

**『クラウド型音声配信サービス「PlatCast(プラットキャスト)」』の正式運用を開始  
インターネット回線を利用した独自のサービスを事業化  
～スポーツを始めあらゆるイベントへ、低コストで実現できる音声に特化した配信サービスを提案～**

株式会社アイ・オー・データ機器(本社:石川県金沢市、代表取締役社長 濱田尚則、以下、アイ・オー・データ)は、独自に開発した『クラウド型音声配信サービス「PlatCast」』について正式運用を開始することを発表します。

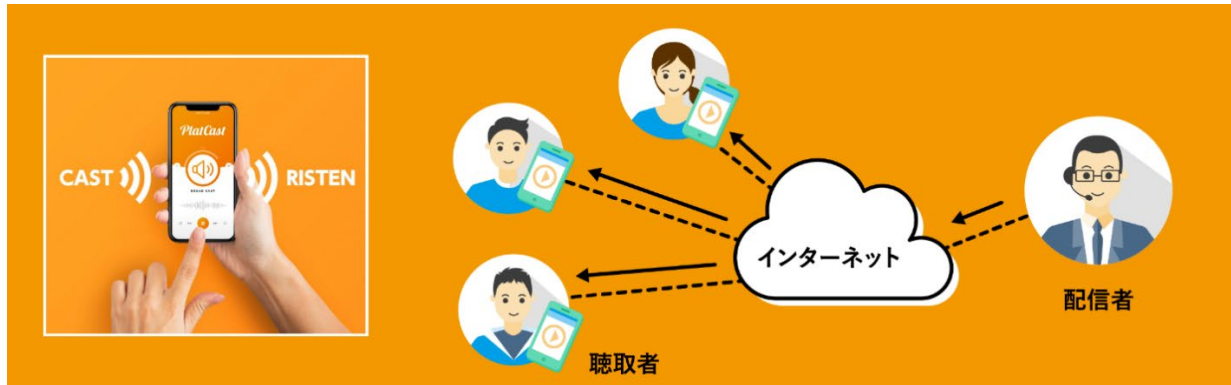
アイ・オー・データは今まで主にスマホやパソコンの周辺機器を開発し、お客様に“モノ”を通じて価値を提供してきましたが、「PlatCast」では体験から生み出される価値を提供するサービス事業を本格的に展開します。



[https:// www.iodata.jp/ssp/service/platcast/](https://www.iodata.jp/ssp/service/platcast/)

インターネット回線を利用した「PlatCast」は、音声に特化した配信サービスです。配信側は音声データをアイ・オー・データの運営するクラウドサーバーへ送信し、聴取側はスマートフォンの標準のブラウザから本サーバーにアクセスすることで、音声データを聴くことができます。

▼仕組み



▼利用シーン

**スポーツ観戦**



実況解説を聞きながら試合観戦！

**トークショー**



補足情報でトークをより楽しく。

**学会**



同時通訳や、用語の解説に！

**各種イベント**



曲の詳細や背景をよりくわしく聞ける！

## ■「PlatCast」の特徴

### 配信側:

- ・低コストでの導入・運用が可能  
(配信機材のレンタルを含めたワンパックにてサービス提供  
利用料は1chあたり30,000円<sup>※1</sup>/日 ~ )
- ・アーカイブデータや聴衆者数のデータ提供が可能

### 聴取側:

- ・データ通信容量が少ない(1時間当たり0.04ギガバイト程度)
- ・スマートフォンの標準ブラウザで再生が可能  
(専用端末及び専用アプリケーションが不要)



配信機材の一例

※1: 価格は税抜です。利用日数やオプションにより追加費用が発生します。

## ■「PlatCast」の流れ



2018年10月からプレサービスをスタートした「PlatCast」は、プロスポーツでは、バレーボール、バスケットボール、サッカー、ラグビー、格闘技などの競技においては音声実況を、医療学会では同時通訳など、いろいろな分野で実証試験を重ねてきました。

特にスポーツ実況においては、テレビ放送の副音声のような位置づけとして、試合会場で視覚から入手しきれなかった情報を聴覚で補うことでよりファンとそのスポーツとの距離を縮めることが可能であることから、ルールが複雑なスポーツ、馴染みの少ないスポーツからもファン獲得のためのサービスツールとして期待されています。

現在の「PlatCast」は、聴取に3秒程度の遅延が発生しますが、2020年春には遅延時間をより短縮し、音声品質を向上させた次期バージョンのリリースを予定しています。

アイ・オー・データは、この“配信”という体験を通じて、スポーツ界の継続的発展に貢献できるよう、今後も「PlatCast」の利便性の向上を目指し開発してまいります。

※ 本リリースに記載されている会社名、商品名は、各社の登録商標または商標です。

### 【本リリースに関するマスコミ問い合わせ窓口】

株式会社アイ・オー・データ機器  
事業戦略本部 販売促進部 販売促進課  
担当: 納富(のうとみ)  
TEL: 090-4323-5016  
ホームページ: <https://www.iodata.jp/>

### 【会社概要】

株式会社アイ・オー・データ機器  
代表取締役社長: 濱田 尚則  
本社: 石川県金沢市  
資本金: 35 億 8,807 万円  
(東京証券取引所 第一部、証券コード: 6916)